

# 緊急開腹手術を受けられる方へ

ID:                      病棟:                      主治医:                      担当医:

氏名:                      受持看護師:

	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目～退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 手術の受け入れができています。	傷から出血がない。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 病棟内歩行ができる。	 医師の記入が必要な書類などありましたら、 平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出しください。			退院後の生活の注意点、外来受診の必要性もわかる。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。
説明	医師から手術の結果について説明があります。 					看護師より退院後の生活について説明があります。 主治医より退院後の外来受診や服薬などについて、説明があります。
検温	 帰室時 1.2.3.6時間後 それ以後翌日6時まで4時間毎	4回	4回	2回	1回	1回
排泄	尿道留置カテーテルから自然に尿が出ます。		動けるようであれば、尿道留置カテーテルを抜き、病棟内トイレまで歩行します。  1日の尿量を確認するために、尿量測定を行って下さい。	15時で尿量測定は終了です。		
処置	手術室より酸素を付けて帰って来ます。 背中に痛み止めのチューブ、お腹にドレーンが付いている場合があります。 点滴は医師の指示があるまで持続で実施します。 看護師が1～4時間毎に伺い、検温と手術後の観察をします。	採血があります。 朝に酸素の投与を中止します。 医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続です。 朝・夕の抗生剤の点滴もあります。 	痛み止めがなくなれば、背中入っている痛み止めのチューブを抜きます。  動けるようになったら、弾力ハソックスを脱ぎます。		創部の抜糸をする場合があります。(術後6日目)	採血・採尿があります。 内診があります。 
投薬	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。 	10時から、腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 				
安静	ベッド上で寝て過ごします。 膝を立てたり、寝返りすることができます。 起き上がることはできません。	ベッドサイドに立ってかまいません。 最初は看護師が傍で見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限ありません。	
食事	食事水分も摂ることはできません。 ベッドに寝たままうがいをすることができます。	朝から水分開始、 昼から重湯が開始になります。 	昼から5分粥になります。	昼から全粥になります。 	昼から普通食になります。 	
清潔		体を拭いて、お下も洗います。 お手伝いしますが、出来る範囲で ご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。   出来る範囲でご自分でも拭くように しましょう。  トイレでウォッシュレットをご使用 ください。		(術後4日目～) シャワー浴が開始となります。 	